

平成 30 年度 自己評価表（中間）

中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標	実績値	目標値		評価	改善策
				平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 30 年度 1 学期	
児童の学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 課題発見・解決学習を全ての教科・領域で展開し、児童の資質・能力を育成する。(全国学力学習状況調査「B問題」「CDTの正答率」を全国平均以上にする。 自主勉強等自ら学習する習慣をつける(『やりなさい』といわれなくても自ら進んで勉強しています)という児童を90%以上にする) 	<ul style="list-style-type: none"> 「学力向上チェックリストを活用し、授業改善・学力向上を図る。 問題解決学習とリンクさせ、問題解決の3ステップを授業展開に位置づける。 家庭学習とリンクする振り返りを行う。 自主勉強の進め方について時間を確保して定期的に指導する。内容は基本的な事項から取組み、応用へと発展させる。 	CDT 学力調査 全国学力学習状況調査 児童アンケート	CDT 正答率全国比 国(+1) 算(+5) 全国学力B問題 国B(+3.5) 算B(+1.1) 肯定的評価 83.9%	CDT 正答率全国比 国(+3) 算(+6) 全国学力B問題 国B(+2) 算B(+2) 肯定的評価 90%	CDT 正答率全国比 国(+5) 算(+7) 全国学力B問題 国B(+3) 算B(+3) 肯定的評価 92%	全国学力B問題 国B(-2.7) 算B(+3.5) 肯定的評価 80.2%	指定された条件に従って記述する問題で課題が見られたため、全学年で、条件を指定して文章を書く練習に取り組む。 自主勉強ノートコンテスト等で、自主的な学習を促す。
児童の豊かな心を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> 自己効力感を向上させ、「自分には良いところがある」という児童を90%にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「ほめる」ことを基本とした評価を行う。 自分は「時間を守る」「大きな声で返事・挨拶ができる」という自信を持たせる。 自分を見つめる特別の教科・道徳の授業を行う。 	学校アンケート	94%	90%以上	90%以上	91%	<ul style="list-style-type: none"> 「ほめる」ことを基本として指導をこれからも行う。固定化しがちな児童には、個々に応じた指導を考えていく。
児童の体力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 体力・運動能力を向上させ、全国平均以上の種目を70%にする。 健康体力を高めるための生活習慣の定着を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 「走力」「柔軟性」「巧緻性の向上につながる、サーキット運動や遊びを取り入れる。 健康の保持増進のため手洗いを励行し、生活習慣調べを行う。 	体力テスト調査 生活アンケート	全国平均以上の種目 72.9% 生活カード 早寝85% 早起81% 朝食94% 手洗 —	全国平均以上の種目 70%以上 生活カード (4項目83%以上)	全国平均以上の種目 70%以上 生活カード (4項目83%以上)	昨年度の県平均と全国平均との比較では 79.1% 生活カード 85.8%	<ul style="list-style-type: none"> これまで続けてきたサーキットや業間運動の成果が出てきているので、これからも意識して続けていく。長期休暇後や祭り等による生活習慣の乱れが必ず出てくるので、個々に応じた支援を行う。
信頼される「わくわくする」学校となる。	<ul style="list-style-type: none"> 教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。 地域・保護者との情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の服務研修の確実な実施と過去の事例と防止策を研修内容として取り入れる。 定期的な「便り」の発行やHPの更新を行い、取り組みにおける目指す姿や児童の状況をタイムリーに発信する。 	不適切事案の発生数 学校満足度	0件 学校アンケート 94%	0件 学校アンケート 95%	0件 学校アンケート 96%	0件 学校アンケート 97%	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の服務研修を継続的に行う。 保護者に具体的な対応の仕方等引き続いたより等で機を逃さず伝える。